

文化情報誌

Passion

・ パッション



特集 「いじめないでいじめろ」



輝く心 食べるユウジの心

奥村悠貴

FLASH 『真のバリアフリー社会』を目指して

車いすお世こなご隊

加藤千明

誌名の「Passion」は燃えるような「情熱」の意味です。

自然と人間



四季のうち過ごしやすい春と秋が無くなって、夏と冬だけの極端な二季になってしまったかのような昨今の日本列島。そして日本ばかりでなく世界中で異常気象や、その影響による大きな自然災害が相次いでいます。地球を取り巻く環境の危機が叫ばれて久しいにもかかわらず…。

春夏秋冬、それぞれの表情をもった四季は、古代から日本独自の個性をもった文化を生み出して来ました。それどころか、お花見、紅葉狩りを始めとする生活に密着した年中行事で、人生を豊かに彩り、人々に美しさ、優しさを愛する心まで育てて来たのです。それも「自然」と「人間」とが、うまく調和し「自然に包まれた人間生活」という関係があればこそでした。当然、日本美術の中にも、自然の中に潜む「生命力」を信じ、時には畏れ、人間との共生を求め続けた作家や作品が数多く存在します。

考えてみれば人間も、他の生物や植物と同じ自然の一部に過ぎません。それが現代では人間の中の、生活の中の一部が自然という位置に逆転してしまっているように思われることが多々あります。人間活動が大きく成り過ぎて、自然環境を破壊し、もともと修復機能のあった自然が修復出来なくなっているのが今日の状況なのではないでしょうか。

四日市市は、四日市公害という苦い経験をしましたが、それを人々の努力によって改善し、現在の環境を取り戻しました。博物館・プラネタリウム・四日市公害と環境未来館という他所に見られない三つの象徴的施設をもった「そらんぼ四日市」は、人間の「過去から未来までの時間」と「心の中から大宇宙までの空間」の交差する「人間と自然」「過去と未来」「一個人と大宇宙」について、それぞれが思いを馳せていただくところです。今後ますます重要となってくるそれらの問題に対応するため、三施設の連携をより強化し、皆様のご期待に答えていくべく準備を進めていきます。

四日市市立博物館 館長 吉田俊英

Passion



表紙写真 八王子町 秋の小径
写真提供 四日市市

「こにゅうどうくん」は、今や我が四日市市の一番の愛されキャラ。人気グッズとともに、あらためて紹介しました。

四日市市文化協会に関するお問い合わせや、入会のお申し込みは、下記へご連絡ください。

〒 510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

Eメール

ybk@yokkaichishibunkakyoukai.com

開局時間 月曜日から金曜日までの
13時～17時(祝祭日は除く)

ホームページ

四日市市文化協会  検索

HPが新しくなりました(8/20～)



Passion

65 2019
sep.

巻頭によせて

自然と人間

四日市市立博物館 館長 吉田 俊英

特集

『こにゅうどうくん』



「くん」までが名前だよ！	こにゅうどうくん …………… 2
こにゅうどうくん井デザイン物語	
	株式会社ロゴス 代表取締役 田中 郁夫 …………… 3
こにゅうどうくんグッズの展開	太古堂店主 小林 克司 …………… 4
こにゅうどうくんスイーツの誕生まで	
	株式会社 紺文 森 修平 …………… 5

Sparkling Personality 輝くひと

食べるということ	奥村 悠貴 …………… 6
FLASH 『真のバリアフリー 社会』を目指して	思いま おもてなし隊 加藤 千明 …………… 8
四日市地域 まちかど博物館めぐり	
うつべ町かど博物館	…………… 9
訪問レポート	
第8回 神笑亭	…………… 10
藤工芸家を訪ねて	藤工芸作家 殿山 照子 …………… 11
人生道中藤栗毛	
路傍の自然石考 ⑤ 内部の「なぞの石神」は現存した	吉川 宗明 …………… 12

(敬称略)

＜… パッションひろば …＞

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば 現代詩 村山 砂由美	…………… 13
平成30年度 文化功労者受賞者一覧	…………… 14
四日市アート展『幸せなできごと』	…………… 15
第69回 四日市市民芸術文化祭 催事ピックアップ	…………… 16
この人を知る 日本宗教研習会会員 吉川 宗明さん	…………… 18
四日市市文化協会後援イベントのご案内	…………… 19
不易流行/リレーエッセイ/理事長のつぶやき/編集後記	…………… 20

「くん」までが 名前だよん!

四日市市 マスコットキャラクター こにゅうどうくん

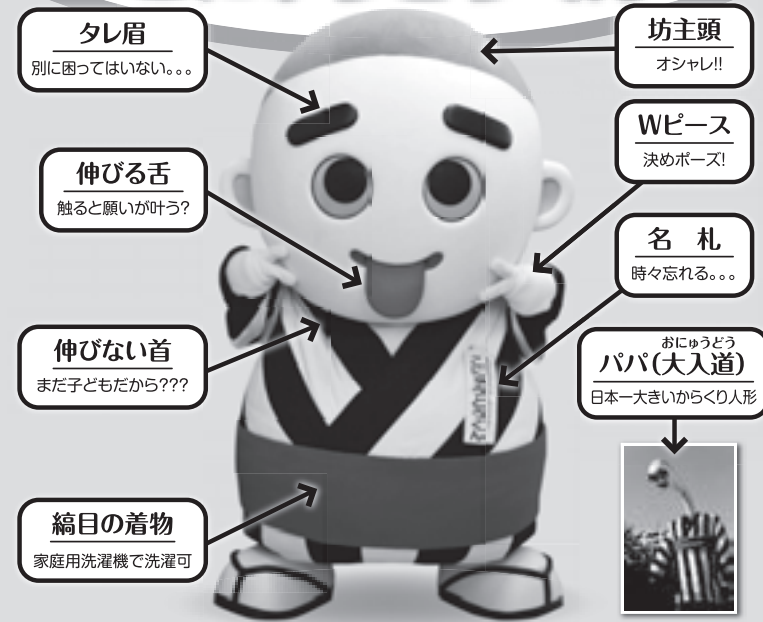
ボク、こにゅうどうくん。四日市市のマスコットキャラクターだよん。1997年、四日市市の市制施行100周年を記念して生まれたんだ。

ボクの姿は四日市の人なら子どもの頃から知っている「大入道さん」をモチーフにデザインされているんだよん。名前は公募で、市内の小学生がつけてくれたんだよん。「大入道さん」の息子だから「こにゅうどうくん」。ボクにぴったりの名前だね!

パパみたいに、首を伸ばしたり、目玉をぎよるぎよるしたりはできないけど、ボクのべくと伸びる長い舌を、「伸ばしたい」ことを願いながら触ると、願い事かなうと言われているよん。

これからも四日市の魅力を発信していくよん。

四日市市マスコットキャラクター こにゅうどうくん



四日市市は、古くから「四日の市」に象徴される商業の町として、また東海道五十三次の宿場町として栄えました。石油化学コンビナートを代表とする産業都市でありながら、伊勢湾と鈴鹿山脈がある四日市市は、豊かな自然に恵まれ、みどころたくさん、おいしいものいっぱいです。

市制100周年の記念の年に生まれたこにゅうどうくんは、いたずら好きな妖怪の男の子です。のぼしたいお願い事をしながら、こにゅうどうくんののびる舌に触ると、その願いが叶うとも言われています。

facebook <https://www.facebook.com/konyudokun>

twitter



にゅうどうくん活動風景

四十三茶屋にて
四日市観光協会には
ボクのお部屋があるよん。

萬古まつりにて
萬古焼のキャラクター
「ポッターくん」と仲良しなんだ



茶摘みイベントにて
中央通りの中央分離帯の植え込みは
「お茶の木」だって知ってた?

大四日市まつりにて
パパは高さ9m、
日本一大きなからくり人形だよん



こにゅうどうくん 丼デザイン物語

株式会社ロゴス
代表取締役
田中 郁夫



あれは3年前、県補助金申請のため新商品開発への思いや熱意を伝えるプレゼンテーション——四日市市には人気マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」と四日市の伝統産業「四日市萬古焼」といった素晴らしい資源があるので両者をドッキングさせた新しい四日市のみやげものをつくり、四日市

をPRできる商品としてまた地元の特産品とのコラボ企画やサービスにも活用できるグッズとして展開していければ——そんなコンセプトで商品企画や製造販売計画を説明をしたように思います。

開発費として補助金をあてにしましたが、残念ながら取り上げてはもらえませんでした。「こういうことは自腹でやらな、身にならんだらう」と諦めきれず、チャレンジを続けました。

まずは作製に関わってもらえる萬古焼のメーカーさんや型屋さんなどと相談しながら試作品をつくってもらいましたが、どんぶりの形状や大きさ、重さ、蓋との合わせ具合などいろんな問題に悪戦苦闘。器に転写することにゅうどうくんのイラストも、形状に合わせてデザインデータの作成から調整をし、井の絵柄は3パターン作ることにしました。

昔からなぜか井は蓋が付いたものしか興味がなく、けっこう重宝な食器だと思っていました。ところが四日市はやきものの産地なのに蓋付きのものをあまり見かけません。型も2個いるわけですからつくるのも手間がかかります。でもそこがこの井へのこだわりです。蓋の色も3色あった方がいいと、それぞれのどんぶりの柄にコーディネートするよう修正を重ねています。

元々本業は商品開発ではなく、このような商品を販売するためのパッケージや販促ツールのデ

ザイン、ブランディングのサポートがメインです。四日市萬古業界のPRや販促支援などにはずいぶん関わってきましたが、自ら商品を造って売るという行為は初めての事。しかも型からデザインをおこし、できあがるまでのほとんどの過程に関わり、ひいては販売方法や販路開拓と、ひとつの商品が市場に出るまでの難しさを実感しました。こにゅうどうくんをデザインした生みの親でもある当社だからこそできるものをもと本気で取り組んだ甲斐がありました。

当社は来年2020年で創業40年になります。新しい事業として継続できることをしていきたいと次の戦略を練っています。これから四日市市や四日市萬古焼のPRにつながる土産物として定着していけばありがたいです。

こにゅうどうくん井は、四日市観光協会、じばさん三重、ばんこの里うつわ亭などにゅうどうくんにつながりの深い施設やお店で販売していただいています。

もちろん当社（株式会社ロゴス）でも販売していますのでお気軽にお問い合わせください。
四日市市中川原一丁目三一二三
電話 ○五九一三五四一〇八四六
販売価格は1個3000円（蓋付き税別）

略歴 田中 郁夫
松阪市出身
株式会社ロゴス代表取締役。JAGDA元会
員、NPO法人県三重
県デザイン協会元理
事長などを務める。県
や全国のポスターコン
クールでのグランプリ
など受賞歴多数あり。
県産業支援センター
の経営支援専門アドバ
イザーとして、商品パ
ッケージやロゴマーク、
販売促進等の支援をし
ている。



こにゅうどうくん グッズの展開

太古堂店主

小林 克司



祖父の代から続く印鑑屋を継ぎ現在48歳。ごく普通の印鑑屋が何故こにゅうどうくんグッズを扱うようになったのかご紹介させていただきます。

今から6年前ほど前、くまもんやふなっしーなどのキャラクターがブームを巻き起こし、様々なゆるキャラクターグッズが溢れていました。そんな時ふと、地元四日市のキャラクターこにゅうどうくんのグッズはどんなものがあるのだろうかと思い、いろいろと探してみました。

すると、無い！ほとんど何も無い！

長年四日市のキャラクターとして活躍しているこにゅうどうくんのグッズが無いのは寂しすぎると思い、無いのなら作ってしまおうと決意。

まずは本業を生かし「こにゅうどうくんスタンプ」を発売しました。もちろん最初は売れませんでした。SNSで発信し続けると徐々に買いに来られる方が増えてきました。中にはこにゅうどうくんが大好きすぎてイベントに駆けつけたり、自作のグッズを身につけたり、ファンレターを送ったりするこにゅうどうくんファンも！

喜んでくれるファンがいるのならばアイテムを少しずつ増やし、スマホカバー、Tシャツ、印鑑、バッジ、ステッカー、キーホルダー、マスキングテープ、ボールペン、ゴルフボールなど、いまや店内では本業の印鑑以上に存

在感を発揮してくれています。

多くのこにゅうどうくんファンとの交流が増え、グッズを販売する仲間と出会ったり、イベントで出店販売したり、情報誌に掲載してもらったり、なんとテレビの取材も受けることになるなど、発売当初には思いもよらなかった展開になり自分でも驚いています。

こにゅうどうくん、いつまでも元気で市民に愛されるキャラクターでいてね！！

(有)太古堂

所在地 四日市市新々町一―五

電話 〇五九―三五―一五二二三



ここにゆうどうくん スイーツの 誕生まで

株式会社 紺文
森 修平



社屋全景

私どもの会社は大正元年の創業で、今年で108周年になります。私はこの店の3代目として40年以上、四日市の商店街と

もに歩んでまいりました（現在、四日市商店連合会会長）。

以前から、市のマスコットキャラクター「ここにゆうどうくん」の大ファンで、その魅力に惹かれて「ここにゆうどうくん」グッズを作っては、自分なりに楽しんでおりました。

そんな中、私と同じく「ここにゆうどうくん」ファンの娘（35歳）の「もっと女性に受けるかわいいグッズを作ろう」という提案を受けて、企画開発に取り組み、3年前に「ここにゆうどうくん」グッズを並べたショップ「Youキャラ堂」を同社店内に立ち上げました。

インターネットを活用して、四日市市民の皆さんはもとより、市県外の皆さんにも親しんでもらえるショップを目指して、がんばっております。

ある日、新商品開発に知恵を絞っておりましたら、四日市名物として「ここにゆうどうくん」を題材にした手土産がないことに気付きました。市の名物としては「ながもち」など和菓子が広く知られていますが、女性が好みそうな洋菓子で、幅広い世代に味わってもらえそうな名物を「ここにゆうどうくん」とコラボレーションして作ってみようと思いつきました。

企画から商品化へと約半年、試行錯誤を重ね、地元の洋菓子店「ラ・セディーユ」（日永）さんのご協力をいただき、見た目にかわいく、食べておいしい焼き菓子、その名も「こ

にゆうどうくん黒豆ダマンド」が完成。餡と黒豆、バターとアーモンドが絶妙に絡み合った和のテイストを残した洋菓子の開発にたどり着きました。

新たな四日市名物でティータイムを楽しんでいただきたいと、地元の茶どころ、水沢町の製茶業社「お伊勢参り本舗」さんのご協力で、「伊勢本かぶせ茶」の小袋とのセットで販売しています。

これまで食品に携わったことのなかった私ですが、「ここにゆうどうくん」の四日市名物を作りたいという思いに、多くの方がご賛同くださり、ご協力を得ることができました。皆さまに心から感謝申し上げます。



黒豆ダマンド6個、伊勢本かぶせ茶6パック
1セット=1,400円(税別)

ラ・セディーユ=四日市市日永2-5-45、電話059-315-1895
または、Youキャラ堂=四日市市鶴の森1丁目7-13 紺文きもの屋小町1階で販売しています。



Sparkling Personality 輝くひと



食べるということ

—— 医療的ケアが必要な子を育てる母 奥村 悠貴

『食べるという行為』

美味しい食べ物、美味しいね！と誰かと話しながら食べるが私の幸せです。

でも、ある日突然食べることができなくなってしまうのが、私の4歳の息子です。超希少難病（1000人未満）で生まれ国内外、同症例患者がいません。

疾患の進行で嚥下機能障害になり、1歳の時に大好きだった「食べる」という行為ができなくなり、鼻からチューブを通して栄養剤を摂取していました。それも上手くいかず、いよいよ胃ろう（胃に穴をあけて直接摂取する方法）の話が医師から持ち上がり、私の中では「もう、親としてこの子にご飯も作ってあげられない」と、落ち込んでいた私に「胃ろうにするとね、生のごはん…ミキサー食を注入してあげられるらしいよ」と、同病室のお母さんが教えてくれました。そして胃にも味覚があって風味を感じることが医学上解明されている。

正に青天の霹靂でした。形態は違うけど、また同じ食卓で食事ができるかもしれない！この一言で胃ろう



同じご飯

造設を判断しました。

『孤食にさせない』

乳幼児のお母さんなら離乳食のレシピ本を一度は手にしたことがあるりませんか？介護力テクノロジーになるミキサー食にはレシピ本がほとんどありません。私の周りに胃ろうからミキサー食を摂取する方もおらず、ネットで調べたり毎日試行錯誤の連続でした。

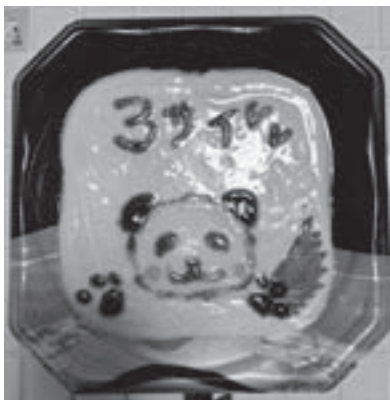
第2子となる妹が生まれるころには訪問看護ステーションを通して

「おばあちゃんが大好物のチーズがまた食べたいというけど、どうやって工夫したら良いか」などの質問をされるようになり、ミキサー食の在宅テクニック講座の講師をしたり、息子の腸活の為に始めたお味噌作りの講師をやったりもしました。

妹の離乳食に息子のミキサー食、そして私たち親の普通食と形態は違ってもほんの少し工夫すればみんなで同じメニューをおいしく頂けます。一番は息子に孤食をさせたくなかったという事です。その食卓をデザインすることが私の目標であり、毎日の楽しみでもあります。



桜でんぶの格子状デコ弁



片手に離乳食のスプーン、もう方手には息子のシリンジ（医療物品）という不思議な食卓ですが、子供たちの喜ぶ顔と小食でも献立は残さず食べてくれる夫にいつも元氣をもらっています。

『食卓のユニバーサルデザイン』

同じメニューでも見た目も楽しんで

でもらいたい！そんな想いで始めたのがデコレーションミキサー食、略してデコ食です。通園の時はお弁当なので作る側の私も楽しんでいきます。キャラ弁ならぬデコ弁です。お誕生日などの特別な日はこうしてちらし寿司のあなごや桜でんぶを格子状に載せてみたりもしています。

その中でもポタージュスープは赤ちゃんから大人、息子もしっかり栄養が摂れてほっこりする大好きなメニューです。

このポタージュスープみたいな誰でも食べやすく美味しいね、頂きます、ご馳走様！を一緒に言える食卓であってほしいです。

今日ものんき気まま、誰かを想って料理できる事に感謝して、母業に邁進してまいります。

奥村 悠貴
四日市市出身。
愛する長男は重度心身障害の医療的ケア児。
長女は1才やんちゃ盛り。
夫と共に神奈川県から子育て移住。日々邁進中！

FLASH

『真のバリアフリー社会』を目指して

車いすおもてなし隊
加藤 千明



プロフィール

平日は会社員。休日は茶道を学び、茶室を研究・建築デザインも学ぶ通信大学生。各地では「車いすおもてなし隊」として真のバリアフリー社会の実現に向け活動中。

心が落ち着く、見慣れた風景。私が住む、三重県北部の地域には緑あふれる広大な茶畑があります。四日市市水沢町では伊勢本かぶせ茶で有名な日本茶が栽培されています。かぶせ茶の生産量は三重県が全国一位。私が生まれ育ったこの地域では、幼い頃から萬古焼の急須でお茶を飲む習慣がありました。特に地元産かぶせ茶は、甘みがあり、とても美味しく、近所で販売されていたお茶のソフトクリームや抹茶のスイーツも絶品でした。

そのような環境の中、身近にお茶を感じていた私が、取り組んでいる活動について、ひとつ紹介させて頂きます。2007年、バリアフリーファッションショーのイベントがきっかけで車いすユーザーの女性が集まりました。その中の有志が集まって再結成し活動をしているのが「車いすおもてなし隊」です。私は5歳の頃から病気により車いす生活をしていました。茶道には、幼い頃から興味がありました。和室での正座や着物の作法など、古典的でお堅いイメージがありました。車いすでは困難な事が多く、「何か良い方法がないかな」と違つて観点からでも携わりたい「そう考えていた中での活動が、「車いすおもてなし隊」のテーブルで出来る茶道でした。正式なお点前の中の「盆略点前」を学び、お茶会を通じて様々な方と「ミニユニケーション」を深めています。



盆略点前

お茶についての問合せ先「三重茶農業協同組合」
059-339-3331
車いす茶道・着物についての問合せ先
「車いすおもてなし隊」
<http://wheelchairomotenashi.blog.jp/>

段からお世話になつている皆様へ感謝の気持ちを伝えたい、これは茶道のイメージと障害者の先入観を変えられるチャンスかもしれない」と願いながら活動をしています。

また車いすの私たちは、全国から集まった時を利用して、生活に関する都会と田舎ならではのそれぞれの社会的障壁や地域格差問題を話し合う機会にしています。私たちが各地でお点前をさせて頂く事により、ハード面とソフト面での心のバリアフリー化が進む事を目標としています。

今後も四日市市の魅力である地場産業、お茶や萬古焼等、地元で学んだ知識を活かし、和文化のひとつ茶道を通して、障害のある方もない方も、すべての人が生きづらさを感じない、暮らしやすい社会を目指し「真のバリアフリー社会」の実現に向け活動を続けて参ります。

「うつべ町かど博物館」までもうすぐ、というところで道に迷ったので、通りがかりの人に尋ねたら、少し上の、杖衝坂つえつきさかの中腹にあると教えてくれた。アクセルを踏んで坂をのぼるとようやく着いた。駐車場のある古民家だ。玄関を入ると、一軒家のすべての部屋に展示物があつて、内部地区で発掘されたものや、植物の写真などがパネルにされて並べられている。

出迎えてくれたのは、館長の東川さんだった。平成十九年に開館したここで、現在は六名の仲間たちと運営している。内部地区の歴史を発掘し、発信したいという目的で、調査した結果を冊子にして販売するなどして活動をする。ちょうど取材をしている最中にも、東海道を歩きに来たという人が、他県から訪れた。よくいらっしやいましたと、東川さんが出迎えて、パンフレットを手渡していた。こんなふうを訪れる人たちは月に千人ほどいるという。手厚く迎えられ、渡されるパンフレットは、旅をする人には何よりの思い出になるだろうと思つた。

四日市地域 まちかど博物館めぐり

うつべ 町かど博物館



館内の展示物

うつべ町かど博物館には、公共の博物館でありながら、地元の大勢の人たちの手でつくりあげられた、手づくりの温かさを感じる。地区内にある内部小学校には、空襲をうけなかったおかげで、古い写真がたくさん保存されているそう。町かど博物館の活動の一つとして、数十年以上の修学旅行や卒業写真などの、その写真をDVDにして配ったことがあつた。もの凄い反響で、それによって活動に火がついたのだという。実際に映像化したものを見せてもらった。小学校での日常の白黒写真が、音楽とともに次々に流れた。家庭では保存されてなかったこんなものを見たら、それは懐かしくて心弾むだろうと、見る人の気持ちがい思い浮かんでならなかった。

東川さんは、生まれも育ちも職場も、この辺りだったそうだ。子どもの頃には、今よりもきつい傾斜だった杖衝坂をよく竹ざりですべっていて、あるときまたまたすべり落ちたところが、ちょうど今のこの博物館の場所だったから、縁やなあ、と思つたという。



内部小学校に保存されていた昔の写真の映像と本棚

町かど博物館の後継者不足や、ご本人のご高齢を悩んでいらつた様子もあつたが、写真に写っていたような活発な子どもが中心にいるせいか、話しているうちに、その熱意や、活動をする楽しさが伝わってくる。こんなリーダーがいて、こんな仲間たちに支えられているからこそ、館内の隅々から不思議な温かさが感じられるのだろうと思つた。他県から来る人ももちろん、昔から地元に住む人も、最近住むようになった人も、ぜひ訪れてほしい博物館だ

(レポート 伊藤美香)

四日市市采女町三四七三

〇五九一三四六一六二七

水曜・土曜・日曜祝日開館 要予約

九・〇〇〇〜二二・〇〇〇

開館時間以外は要予約 入館無料

5月の第二日曜、一年のうちで最も快適な季節に、諏訪神社を会場として上演された落語会「第8回神笑亭」を聴きに行った。中は、もちろんたたみ席。だが後ろ5列ほどは椅子が用意され、足がしびれたりとか腰痛の不安があったりする人にはありがたい配慮だった。演じるのは、林家菊丸さんと若手の笑福亭乾瓶（かんべい）さん。乾瓶さんはあの笑福亭鶴瓶のお弟子さんだ。

第8回 神笑亭

諏訪の商店街をにぎやかに

いきなり、菊丸師匠が登場する。少し長めの枕（本題に入る前の雑談のようなもの）で、お客さんの反応を探っているようで、この日は大笑いする客は少ない様子だ。この「神笑亭」が始まったきっかけは10年ほど前からの「諏訪神社にこにこプロジェクト」という企画の一つだそうで、今や半分ほどは常連のお客さんだという。落語好き、それも本格的な落語を聞きたいというお客さんが半数ほどい

る一方で、菊丸さんが三重テレビなどに出て名前と顔を知られるようになったおかげか、初めて聴きに来る人も何人かいて、老若男女、様々な人が集まっていた。

高校卒業後すぐに四日市を離れ、大阪で落語の修行を始めた菊丸さんが、久しぶりに地元へ帰ってきた時に感じたのは、諏訪の商店街の人通りの少なさと寂しさだった。そこで昼間や夕方早い時間に寄席したら、人が集まり、そのお客さんが町をにぎわすのではないかと思い、同じような考えを持っていたプロジェクトの企画に賛同した。休憩に入る前の二人の談話でも菊丸さんの郷土愛が感じられた。

すぐそばで演じられる本格落語

休憩後は乾瓶さんの「つる」という話に続き、再び菊丸師匠の登場。最後の演目は「井戸の茶碗」だった。正直者の屑屋が、頑固だが欲のない二人のお武家さんの間を行ったり来たりする様を熱演した。額に浮かぶ汗が見えるような近さで落語を堪能できるのも、こ



開演前の神笑亭

の会の良さだろう。2時間ほどの落語が終わり、その余韻に浸ってゆっくりと家路につく時、初夏の空気が心地よく感じられた。

(レポート 石井 亨)



終演後の菊丸師匠



2019年に入選した作品2点

居並ぶ作品を見て、籐編みのイメージがガラリと変わった。籐編みといえば、小物入れや収納かご、手提げバッグなどの生活雑貨が思い浮かぶ。一方、殿山照子さん（79）の作品は工芸品。編んだ面が柔らかな曲線を描き、ある作品では砂紋のように、ある作品では動物のように躍動している。昭和59年に第1回ハンズ大賞に入賞して以降、毎年新しい作品を発表し公募展に出品しているそうだ。



訪問レポート 籐工芸家を訪ねて

籐工芸作家

殿山 照子さん

訪問レポート

師範科へと進級しました。師範の御免状をいただき、若い頃には教室を開講していたことも」。

四日市で結婚した夫は転勤族。夫が東京勤務時代、2人の子育てをしながら、籐工芸の橋本昭道氏、長谷川正勝氏らに師事し技術を習得した。

現在の工房は四日市の自宅。テーブルの上には、最新作のスケッチが置かれていた。鉛筆で造形の輪郭だけを描いた線のみ。おそらく編み図は頭の中で出来上がっているのだろう。

自身の礎と自負しているのは、師が得意とした「畝編み」。編み目がきつちり詰まった編み方で、均一に力をかけないと目はすぐに歪んでしまいうさだ。籐編みは一度パターンを覚えると、後はそれを「どう組み合わせるか」の模索という。「自分なりの表現を切り拓くのが楽しい」と殿山さんは目を輝かせる。

「全国を転々とする私は、どんな老後を迎えるだろう。若い頃からずっと『四日市で楽しい輪を持ちたい』と思い描いていました。自宅で教室を開くことも考えましたが、介護に追われ、気づけばこんな年齢

に。でもグループ展や展示販売会などを通じて、楽しい輪が広がっていることに気づきます」。

大人になっても夢を描き追い続けること。夢を叶えるため学び続けること。いつの間にか忘れてしまった大切なことを教わった気がした。（レポート 中村智恵子）



来年6月には近鉄百貨店四日市店でグループ展を開催

略歴

1940年生まれ、四日市市出身
橋本昭道氏より昭道流師範資格
を取得

長谷川正勝氏より本部師範資格
を取得

日本バスケットリ作家協会会員
【個展】

ART SPACE IGA（伊賀市）
パラミタミュージアム（菟野町）

路傍の自然石考

⑤

内部の「なぞの石神」は現存した

吉川 宗明

一九八五年、内部郷土史研究会が「内部旧跡案内図」という地図を複製した。この地図の番号5に「なぞの石神」と書かれた場所がある。

図1のとおり貝家町に位置するが、曖昧な地図である。現地は山林と住宅地が入りまじるエリアで、この地図だけで場所を特定することは困難である。

そこで、貝家町で一軒ずつ訪問して聞き取りをおこなった。一帯はもともと山林を切り開いた宅地であるため土地の人が少ないなか、同地で生まれ地区の最高齢として紹介された八十五歳の男性や、鎮守・加富神社の氏子総代をされている男性、内部で史跡看板

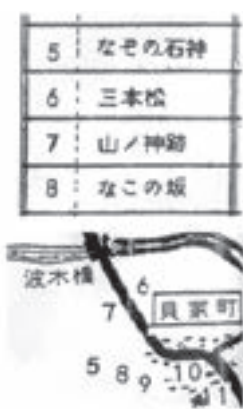


図1



写真1

を立てた方など数名からお話を伺った。しかし、いずれの方も石神はご存知なかった。

それでも路地という路地を歩いたところ、突如、路傍の石が目に入った(写真1)。高さ約二十五センチで、何も刻まれておらず、本当に何の変哲もない石だ。町内ではもっと大

きな岩石にたくさん出会ったが、この石の手前には、何かを立てていたであろうコンクリ製基壇が二基横並びしている。おそらく花を手向けていた祭祀跡ではないか。

ちょうど、道路を挟んだ向かい側の隣家に男性がおられたので、思わず声をかけた。この方は、この石にまつわる物語をご存知だった。いわく、この石はもともと坂(なこの坂と思

われるが、なこの坂と言っても通じなかった)の途中にあり、子どもの頃からまつられていた石だという。やはりただの石ではなく、位置的にも

「なぞの石神」と認めて良い。

そして数十年前、山林を切り開いて今の宅地を開発した時、土建屋の社長さんがこの石を坂から現在地(会社の敷地)に移設したそうである。移設したその社長も会社も今はなく、残ったのはこの石と、その経緯を見ていた隣家の方だけということである。

隣家の方は、この石の詳しい由来を知らないとのことだったが、三十五年前ですでに「なぞの石神」なのである。かろうじて石自体は消滅しておらず、その経緯も今回記録にとどめることで、石の歴史の寿命を延ばせたことを幸いと考えたい。

あらためて、「なぞの石神」が内部や四日市の旧跡として再び認知されることを願い、正確な所在地を図2に掲載しておく。



図2



◀…

パッションひろば

…▶

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば

平成 30 年度 一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞

四日市アート展「幸せなできごと」

第 69 回 四日市市民芸術文化祭 催事ピックアップ

この人を知る

四日市市文化協会後援イベントのご案内

現代詩

文芸ひろば

季節替え

村山砂由美

雨降りのおとの
青い空

雲は遠慮がちに泳いで
薄くのびて

樹々も目覚めて
身体を揺らす

日に透けた青葉が
葉脈まで晒して呼吸している

薔薇が咲いた庭で
甘い香りを楽しむ季節が去り

溜め込んでいた洗濯物を洗って
すべてを解放したい

浴衣で花火をした
あの日

縁台でスイカを食べ
笑った

季節は
巡るけれども

母はまだ冷やしそうめんを
作っているだろうか

新しい季節が上書きされた下には
古い季節が幾つも重なって

映画を観るように
想い出されて

もう一度
空を見上げた

年々このところ暑さが増しており、地球温暖化が
言われています。夏が暑いのは当たり前でしたが、
また違う暑さが世界を危うくしつつあります。

そんな中でも季節は巡り、人々の心には数々の
想い出や風景が重なり、新たな季節に味わいや深
みを添えています。そして、その人だけが味わえ
る新しい季節がまた到来します。

令和元年5月25日

平成30年度

一般社団法人 四日市市文化協会 文化活動功労賞

一般社団法人四日市市文化協会
 会員顕彰に基づき、平成30年度
 の文化活動功労賞を受賞される
 皆さんをご紹介します。

(順不同)



前列左より中西氏、清水氏。円内は南郷氏(当日欠席のため)。

南郷 卓宏(なんごう たかひろ) 文化サポート (個人部門)

当協会の理事として長年にわたり活躍されると共に「文化サポート」の運営に携わってこられました。特に担当理事としての活動期間には文化サポーターの大幅な増員に尽力され、後任に譲った現在も現役サポーターとして活動されています。

清水 広至(しみず ひろし) 四日市花の会連盟 (生活文化部門)

四日市花の会連盟のグループ「小品盆栽会」に入会し、代表として30年間の長きに亘り盆栽の技術向上、後継者の育成に尽力されています。「生活文化・趣味の作品展」への出品や、人生の癒しと潤いを取り入れた展示会、毎月の水沢地区市民センターでの講習会は盆栽の心と楽しさを若者や女性を含む多くの人に伝え続けています。

中西 まさ子(なかにし まさこ) 個人部門

当協会の草創期より芸能部門の会員、理事として活動し、芸能部門を離れてからは個人部門の会員として運営委員を積極的に担い協会運営に尽力されています。また、かつて情報誌『パッション』の編集委員を務められ、文化サポーター活動に勤しまれるなど縁の下の力持ちとして活躍されています。

人気のボルダリングを始めてみたいけど、1人ではちょっとなあ〜という方! お友だちと一緒に体験ボルダリングから始めてみませんか?
 おふたりで始めると、おひとり **200円引き!**
 また、3人以上のグループでは始めると、おひとり **400円引き!**と、大変お得です!

このチャンスにボルダリング始めてみませんか?

大人男子 2,000円 大人女子 1,800円
 会員登録料、レンタルシューズ代、次回割引クーポン付!

さらに、3月末までの期間限定で、
 ペア割、グループ割キャンペーン中!

クライミングホーム UNO 🔍 検索



**体験パックで
 人気のボルダリングを
 始めてみませんか?**

四日市アート展「幸せなできごと」

実行委員長 南川 明宣



今年も長いようで短かった四日市アート展が無事に終わりました。今年の二月より実行委員会の会議を重ね、約半年間の準備期間を経

て、昨年度より充実し、笑顔あふれる展覧会になったことを大変嬉しく感じています。光陰矢の如し、私がこの四日市アート展に参加して

早、十年が経ちました。最初は右往左往しながら、実行委員の皆さんにつき従っていたのを懐かしく感じます。また、十年前は全員、若かったです。書家の花井さんも今は美しい白髪ですが、髪がもつと、黒かったと思います。でも、面白い現象もあります。それは十年が経ち、みんな年を重ねましたが、制作した作品を見ると十年前と比べて、若々しく、生命感にあふれているように感じます。これは芸術活動特有の「幸せなできごと」です。作家には誰しも、自分の作品が一番だと思ふ気持ちがあると思えます。こういった負けず嫌いの精神や、他者の作品から受けた感動が自分の作品にも影響を与え、互いに切磋琢磨して、できた芸術の賜物だといえるのではないのでしょうか。また、作品だけでなく、参加するすべての人達の四日市アート展に対する情熱も年を重ねることに大きくなってきたるように感じます。毎年、多くのリピーターの方々が作品解説の場に来てくださり、熱心に聞いていただいています。そこでの作品に対する質問そのものがハイレベルになってきています。これも「幸



せなできごと」です。こうして、参加するすべての人たちの熱意が今日の四日市アート展を形づくっています。今後も互いに研鑽を積み、作家も来場者の方々も一緒に楽しむしめる展覧会を目指していきたいと思っています。



合唱祭

文化協会合唱部門に加盟する18団体の合唱団が出演します。各団の工夫を凝らしたパフォーマンスや、心のこもったハーモニーをお楽しみいただけます。

最後に会場の皆様と一緒に合唱します。
たくさんのお客様のご来場をお待ちしています。

- とき** 11月10日(日)
開場 13:15 開演 13:45
- ところ** 四日市市文化会館 第1ホール
- 入場料** 無料
- お問合せ** ☎ 090-1622-3883 (市川 美智子)

文化祭 催事ピックアップ



ネイチャーフォト市民公募展

市民から応募された風景、自然、身近な草花など100点を展示します。

【公募要領】

対象 四日市近隣にお住まい、またはお勤めの方。四日市市にある団体に所属する人、およびそのご家族。1人何点でも応募できます。

料金 開催協力費として一人1,000円

応募 9月1日(日)から10月15日(火)まで受け付けます。

・所定の応募票に記入し、作品の裏側に貼り付け

〒510-0057 昌栄町21-10

(一社)四日市市文化協会「ネイチャーフォト市民公募展」宛

他 詳しくは、文化会館、文化振興課(市役所5階)、文化協会にある公募要項をご覧ください。

- とき** 11月22日(金) 12:30 ~ 16:30
23日(土) 9:30 ~ 16:30
24日(日) 9:30 ~ 16:00
- ところ** 四日市市文化会館 展示棟ロビー
(総合美術展と同時開催)
- 入場料** 無料
- お問合せ** (一社)四日市市文化協会
☎ 090-3550-1864 (伊藤 洋史)



第 40 回 四日市市民囲碁大会

参加資格：四日市市及び周辺地区に在住、在勤、在学の
囲碁愛好家

対局方法：S クラス オール互先 4 回戦
先番 6 目半コミ出し

クラス分けによるハンデ戦（スイス方式の 4 回戦）

A クラス（四段以上）

B クラス（三～二段）

C クラス（初段～1 級）

D クラス（2 級以下）

参加人数によりクラス分けに多少の変動があります

表 彰：賞状・盾 各クラス優勝者

賞 品 各クラス優勝～第三位

3 勝賞 各クラス上記外の 3 勝者

と き 12月14日(土) 【当日受付】
受付開始 9:30 受付終了 10:00
対局開始 10:15

ところ 四日市文化会館 第3ホール

入場料 2,000 円(軽食付き)

お問合せ ☎ 090-7311-0153 (今井)
☎ 090-2130-5420 (清水)
☎ 090-2137-4089 (伊藤・事務局)

第 69 回 四日市市民芸術

第 69 回四日市市民芸術文化祭行事…チケットは四日市市文化会館にて好評発売中



全国で活躍のソリストと公募の市民合唱団フロイデ 230 人(市在住、在勤、在学)と賛助出演の総勢 250 人の大合唱で満員のお客様を迎える年末恒例行事です。

地元で活躍する音楽家や団体と国内外で年間 200 回以上の演奏会をするセントラル愛知交響楽団との共演。今回 10 回記念を迎えます。



指揮：井村誠貴 管弦楽：セントラル愛知交響楽団

四日市の第九

日時：2019年12月22日(日)開演 14 時
会場：文化会館第1ホール (開場13 時)

指揮：古谷誠一
管弦楽：セントラル愛知交響楽団

ニューイヤーコンサート 2020

日時：2020 年 1 月 5 日(日)
開演：13 時 30 分 (開場 12 時 45 分)
会場：文化会館第1ホール

この人を知る

第3回

吉川 宗明さん

本誌で「路傍の自然石考」を連載している吉川宗明さん。石は身近にあるけれど、石を考えるとどうということなのか、その魅力を語っていただきました。



プロフィール

1983年四日市市生まれ。立命館大学文学部日本史学専攻考古学コース卒業。現職は市内の学習塾・京進スクール・ワン四日市ときわ教室の教室長。日本宗教民俗学会会員。著作に『岩石を信仰していた日本人』（2011年）ほか。ホームページ「石神・磐座・磐境・奇岩・巨石と呼ばれるものの研究」<https://www.megalithmury.com/> Twitter アカウント @megalithmury で検索



四日市市松原町聖武天皇社の力石と吉川さん

吉川さんはどのような活動をされているのか教えてください

日本人が意外なほどに石を信仰していたという現象(岩石信仰)を研究しています。宝石や壮大な巨石文明とかはわかりやすいですが、私は「ゴツゴツこの石を」というような自然石に特に興味関心があります。私が信仰しているわけではなく、信

じていないからこそ、どうして石を神様や仏様として崇めたのかに興味があります。ですから、鉱物学者や地質学者とはまた違い、宗教家でもありません(笑)。大きくまとめれば、歴史を研究している人です。仕事も学習塾ですが、先生でありながら石を通して日々学んでいます。ですから、趣味というには軽すぎるけれど、ライフワークというのも大げさでしょうか。そんな活動です。

なぜ、石に興味を持ったのでしょうか？

きっかけは高校生頃にストーンサークルなどに会ったからですが、なぜハマったかはわかりません(笑)。この自分自身の心理を知るために研究しているようなところもあります。この質問、しばしば受けるんですがいつも困るんです。でも、

百年も前の日本社会では岩石信仰がまだまだ盛んでした。その頃のDNAと、現代の私たちはそんなに変わらなはず。皆様も岩石信仰の世界に見つけたことになるかもしれません。

近くでおすすめの場所は？

三重県内なら、松阪市の飯福田寺



松阪市の伊勢山上(いせさんじょう)

の伊勢山上を推します。巨岩の霊場です。お堂の前に立つと、聖地と岩石は無縁でないことを体感できるのでは。

これからの目標は？

この連載を長く続けること(笑)。

四日市市には、まだ知られていない自然石信仰が眠っているのではないのでしょうか。ご覧の皆様で、自分だけしか知らないような石があれば、ぜひHPやTwitterで教えたくたい。この少子化&都市集約化の時代、十年後には数百から数千の集落が消滅するという話もあります。過去の歴史を調べるのも大切ですが、いま生きている人や、まだかすかに存続している現場も大事です。時間のかぎり、関心の外に置かれた存在である石を記録していきたいと思えます。

一般社団法人四日市市文化協会 後援事業

本号発行から次号までの間の催事をご案内します。催事については各問い合わせ先におたずね下さい。

歌人・中井正義のこころ

日 時 9月16日(月・祝)
 会 場 四日市市文化会館 第3ホール
 主 催 四日市地域ゆかりの「郷土作家」顕彰事業委員会
 入場料 協力金として一人500円
 後 援 四日市市教育委員会 四日市市
 (株)シー・ティー・ワイ
 問い合わせ ☎ 080-4222-3566 西村 邦彦

四日市交響楽団特別演奏会 四響秋の名曲コンサート

日 時 10月27日(日)
 会 場 四日市市文化会館 第1ホール
 主 催 四日市交響楽団
 入場料 一般1,000円 中・高校生500円
 後 援 四日市市 四日市市教育委員会 中日新聞社
 (公財)四日市市文化まちづくり財団
 問い合わせ ☎ 059-355-7925 水谷 達

第3回クラシック音楽祭 2019 みえ

日 時 10月12日(土)
 会 場 四日市市文化会館 第1ホール
 主 催 四日市クラシックファンクラブ
 入場料 前売 大人2,500円 子ども1,000円
 当日 大人2,800円 子ども1,200円
 後 援 (公財)四日市市文化まちづくり財団
 (株)シー・ティー・ワイ 伊勢新聞社
 中日新聞社 朝日新聞社
 問い合わせ ☎ 080-4222-3566 西村 邦彦

琴伝流大正琴 四日市支部「春の演奏会」

日 時 令和2年4月5日(日)
 会 場 四日市市文化会館 第2ホール
 主 催 琴伝流大正琴全国普及会 四日市支部
 入場料 無料
 後 援 (公社)大正琴協会 琴伝流大正琴全国普及会
 問い合わせ ☎ 090-1728-6709 清野 請子

令和2年3月15日以降の四日市市文化協会後援事業の予定がありましたら、この誌面にて告知を掲載しますので事務局までご連絡ください。

令和元年度賛助会員(順不同・敬称略)

法人会員

(株)シー・ティー・ワイ
 (株)第一楽器
 (学法)富田文化学園
 茶道具 山水園
 (一社)セントラル愛知交響楽団

日本トランスシティ(株)
 水九印刷(株)
 都ホテル四日市
 (株)レイ・ステージ桑名
 (株)紺文デザイン

個人会員

一見 政幸 中川 正春
 田中 俊行 永田 正巳
 津田 健児

文化協会活動にご理解とご支援をいただいている皆様です。

四日市市文化協会様 御用達 パネル用 “紙看板” フルカラーインクジェット大判プリント

840x1600mm **4,320円~** 耐久クロス地、ターポリン地 他取扱い ☎ (059)353-3885

企業のイメージアップサポーター

株式会社 **紺文デザイン**

〒510-0075 四日市市安島2-4-14
<http://www.konbun-d.com>
 E-Mail info@konbun-d.com

戦後生まれの私ですが、物心ついて最初にいいと感じた曲と好みのジャンル変化の履歴を振り返ってみました。

テレビがない時代、ラジオから聴いた歌謡曲が最初で、テレビの普及と共に歌謡ポップスを楽しんでいたようです。小学生5年生の頃、音楽授業で聴いた『ドナウ河のさざ波』に感動し、中学生時代は、クラシック鑑賞一辺倒。また

リバイバル映画で『ベニーグッドマン物語』を観て高校入学と共にブラスバンド部に入部し、クラリ



好きな音楽の履歴

松永 義 松永 義

ネットを始めました。

この頃から楽器演奏に興味を持ち、年末の紅白歌合戦で森繁久弥が唄った「フランメン」でカポレのギター伴奏に興味湧き、以後10年間フランメンギターに没頭。28歳で所帯を持って4年間は本職に類する国家資格取得のため一切の演奏活動は自粛。その後、ギター再開かと思いきや市内朝日町安田生命ビルでの初代高橋竹山の津軽三味線演奏を聴いて感動し津軽三味線を始め、以降約40年津軽三味線の演奏活動と後進の指導にあたっていきます。

人生も第四コーナーを回りゴールへの直線を走っておりですが、津軽三味線とフランメンギター、そしてこれから始めます昭和歌謡の弾き語りを多くの方に披露し、それを楽しめる環境に感謝しながら励んでいきたいと思っております。

理事長つばやき

荒木 栄里子

令和になり初めての「つばやき」です。

今、2020年からの10年間の四日市のまちづくりの方向性を定めようという「四日市市総合策定委員会」が行われています。

8分野に分けて基本政策が話合われているこの委員会は各々の分野の有識者や専従者など幅広い委員による会議です。中でも、心豊かな人間人生形成に大切な「文化」は、大きな分野としてソフトハード面の双方から語られています。

子どもたちに文化力を付けたい。大人たちの健康寿命を文化の力で延ばしたい。文化に係わる私たちは、そんな思いに支えられて、人間に与えられた権利である文化芸術を十分に享受できるよう、五感を十分働かせて発信していかなければならないと考え日々活動しております。

皆さま、知らなかった分野にも目を向けられるような柔軟さを持ち続けられる日々を過ごしましょう。

不易流行

謙讓語のこと

近頃テレビのニュース番組を見ている、敬語を使うべきなのに使わない、あるいは使えないアンカーだかキャスターだかが少なからずいる。

例えば誰かに何かを尋ねるとき、お聞きします、と言わないで、聞きます、とか、聞いていきます、とか言う。それは多分、聞く、という自分の行為について敬語を用いることに抵抗があるからだろうが、それは違う。

この、お聞きしますの「お」は自分の行為が及ぶ相手に対する敬語で、謙讓語という。つまり、相手を立てて自分はへり下る言い方である。聞く、のように和語の場合は「ご・御」を用いる。

何故そうなるのだろうか。一つには現代人の対話・対人関係の有り様もあるのだろう。若い人で、敬語などにいちいち気を遣っていると対話がスムーズに運ばない、などと難癖をつける方もあるが、それは如何。

確かに言葉は時代とともに変化する。しかし、話すにしろ書くにしろ、常に相手に敬意を表すところ、それはいくら世の中が変わろうと大切だと思う。(西田青沙)

編集後記

またね



●今年の夏は、天候不順なせいか切羽詰まらないとやる気が起きない日が多かったような気がします。もしやすると体調不良になりそうな天候の時に怠けてしまったり、切羽詰まらない限りは無駄に動かないというのは、人類にとって体力温存のための本能ではないかと気づきました。家族には、言い訳もここまでいけば大したものだと言われますが、あなたが間違っていないような気が…(まだ言っただけ?) (順)

●3月に骨折した外果の病院通いが、ようやく終わりそう。桜満開のころは、松葉杖&ギブスで絵に描いたような怪我人姿だった。四方八方に迷惑を掛け、身の縮む思い。一方、歩けない日々は新たな発見の連続でもあった。人の温かさにはジーンとする事もあれば、不便な街の構造にウーンと唸る事も。便利と思ったのは飲食店のテイクアウト。カレーやカフェのランチ……、持って帰れる店が四日市に色々ある事を知った。いつかMAP化したいなあ。

(ち)

パッション 65号

●発行 令和元年9月15日

●発行人 荒木 栄里子

●編集 パッション編集部

森 次男 (編集長)

石井 亨・伊藤 順子・伊藤 美香

小崎 裕貴・中村 智恵子・吉川 秀道

西田 青沙 (オブザーバー)

●発行所 一般社団法人四日市市文化協会

〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

●デザイン・レイアウト 高田 敦

●印刷所 水九印刷株式会社

シーズンプラン

2020年
3月31日(火)まで

ホテルならではの上品なお食事とサービスで、皆様の思い出に残る特別なひと時をお楽しみください

3つのコースからお選び下さい

Aコース

洋食料理 or 中国料理

立食ビュッフェ /
着席パーティー(大皿)

お1人様 **6,800円**

Bコース

洋食料理 or
中国料理 or 日本料理

コース/会席/立食ビュッフェ /
着席パーティー(大皿)

お1人様 **8,400円**
※日本料理は+500円

Cコース

洋食料理 or
中国料理 or 日本料理

コース/会席/立食ビュッフェ /
着席パーティー(大皿)

お1人様 **10,400円**

フリードリンク2時間付き (ビール・日本酒・焼酎・紹興酒・ウイスキー・カクテル3種・ノンアルコールビール・ソフトドリンク)



MIYAKO
HOTEL
YOKKAICHI

ご予約・お問合わせ / 宴会予約

☎ 0120-385-179 (9:00~19:00)

〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-38

水 九印刷は印刷事業を軸にデザイン企画、
WEB制作、デジタルサイネージ(電子看板)、AR(拡張現実)、
物流までお客様のあらゆるニーズにお応えしております。



MIZUKU

地域と共に140年。

創業1875年(明治8年)を経て私達は常に革新し続けます。

あなたの想いを
カタチに実現する



 **水九印刷株式会社**

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147

TEL.059-332-6600 FAX.059-332-6688

E-mail admin@mizuku.co.jp www.mizuku.co.jp



地上デジタル **12ch**

N ケーブル News

月～金の18時から ケーブルNews

ケーブルNews を見れば、行政の動きや地域の出来事、催し、
気象情報など三重県北勢地域の情報が、丸わかり。
首長自らの言葉で町の動きを語ってもらうコーナーの他、
コメンテーター・新聞記者による解説、中継もあります。

月曜日～金曜日 18:00～18:20



CTYコネクトでもLIVE配信中!
毎週金曜日 18:00～
今すぐダウンロード!



*アプリのダウンロードには通信費がかかる場合があります。

地域の活動や知ってほしいこと、伝えたいこと、番組まで情報をお寄せください。

四日市発、
地域と人をつなぐ
ステーション

Morning Wave 生放送

月曜日～金曜日 7:00～8:54

四日市・菰野を中心とした北勢地域の情報満載でお届けします。
あなたの朝をしっかりサポート!

Evening Wave 生放送

月曜日～金曜日 16:00～18:49

あなたが知りたい地元の情報満載の3時間。
1日の疲れを素敵なおしゃべりと音楽で癒やします。

災害への備えとして、アプリをダウンロード!

公式アプリを使えば雑音も無く快適にラジオをお聴きいただけます。
災害時には防災ラジオとして緊急情報などを随時放送。災害への備えとして、
今すぐダウンロード!

*アプリのダウンロードには通信費がかかる場合があります。 *CTY-FM公式アプリはiOS8.0以上、Android5.0以上に対応しています。ご注意ください。

▲iPhone・iPad版

▲Android版
スマートフォン・タブレット



株式会社シー・ティー・ワイ
0120-30-6500

本社 / 〒510-0093 三重県四日市市本町8-2
【受付時間】月～土(祝日除く) (窓口)9:30～17:00 (電話)9:00～18:00

詳しくは **CTY** で検索!
www.cty-net.ne.jp

